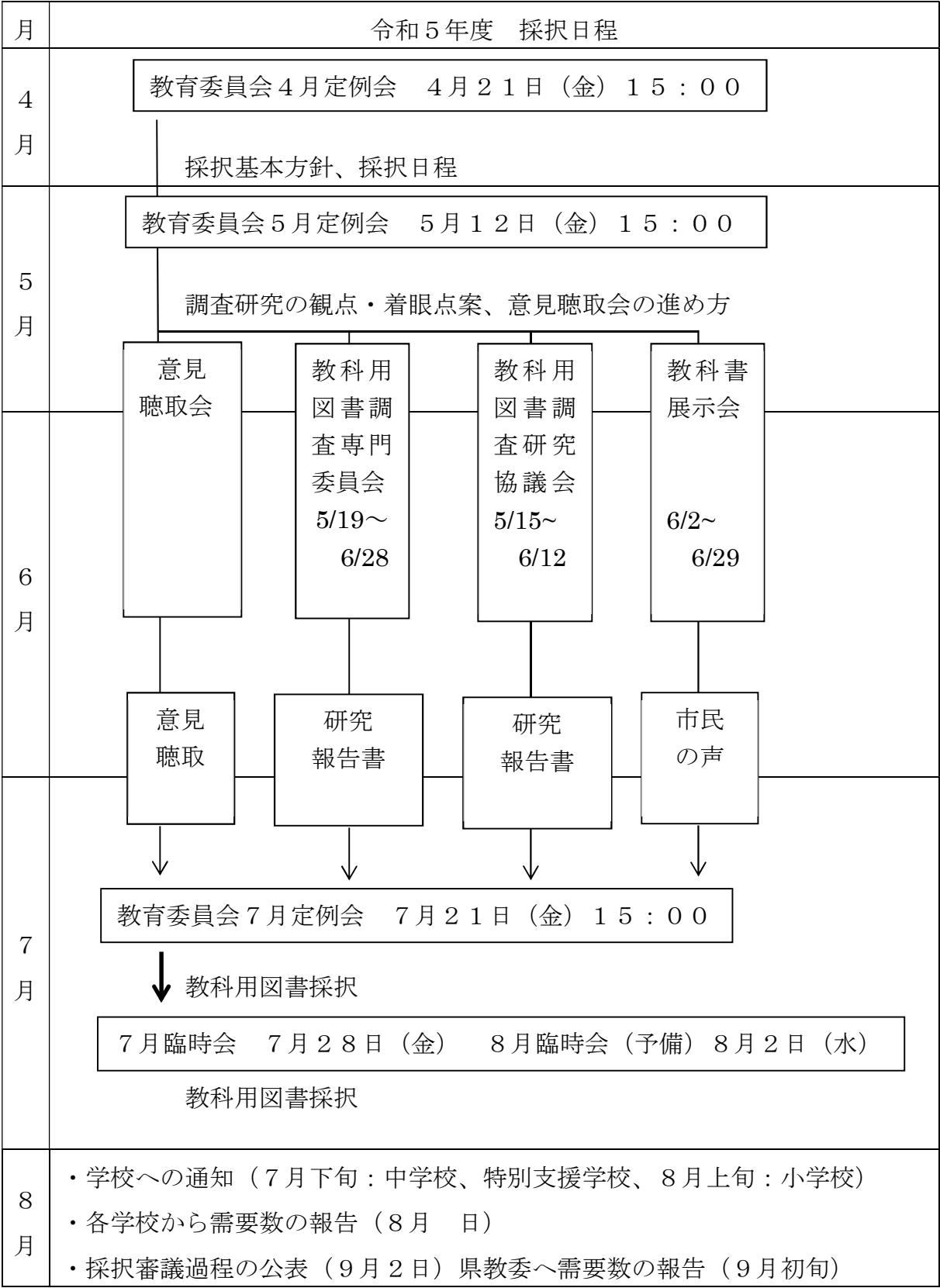


令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択の流れについて



※ 意見聴取会は、教育委員より要望があった場合に実施。

		A者	B者	C者	D者
学習指導 要領との 関連		○単元ごとに身に付けさせたい資質・能力が「言葉の力」として明確に示され、力を着実に身に付けることができるよう工夫されている。	単元ごとに学習の目標と学習過程が明確に示され、児童が主体的に学習を進められるよう工夫されている。	単元ごとに学習の目標と学習過程が明確に示され、児童が見通しをもって主体的に学びに向かうことができるよう工夫されている。	単元ごとに学習の目標と学習過程が具体的に示され、児童が見通しをもって学び、着実に力が身に付くよう工夫されている。
	「名古屋 市教育振 興基本計 画」との 関連	４年「ごんぎつね」の関連図書として、愛知県出身の作家新美南吉の作品が５作品紹介されており、郷土に対する誇りをもつことができる。	４年「ごんぎつね」の単元の最後には、愛知県出身の作家新美南吉の作品が３作品紹介されており、郷土の偉人に対する関心を高めることができる。	○４年生のリーフレット題材に猪子石工場が、説明文教材に名古屋港水族館が取り上げられており、身近な教材を通して郷土に対する愛着や理解を深めながら学習できる。	４年「ごんぎつね」の単元の最後には、愛知県出身の作家新美南吉についての紹介とともに、南吉の作品が４作品紹介されており、郷土の偉人に対する関心を高めることができる。
3 内 容 等	(1) 内容の 選択	単元導入の「つかむ」には単元の目標が示され、見通しをもって学習に取り組むことができる。「取り組む」には単元の問いが設けられ、「ふり返る」にある振り返りの観点と関連しており、児童が成長を実感し、次の学びにつながるよう工夫されている。	身に付けさせたい力が見開きページにまとめられ、児童が見通しをもつことができるよう工夫されている。 学習のねらいや学習過程が明示された手引きで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。	○単元ごとに設定された目標を達成するための手順やポイントが明確に示されている。また、単元の目標、学習過程、振り返りが明示され、習得・活用を繰り返しながら、知識及び技能、思考力・判断力・表現力の育成を図れるよう工夫されている。	○各単元で付けさせたい知識及び技能、思考力・判断力・表現力等の二つの観点を明示し、学習が進むよう工夫されている。また、学習の目標・学習過程・振り返りを見開きで示し、学びに向かう力を含めた三つの観点で学習の振り返りができるようになっている。
	(2) 内容の 程度	単元と既習事項との関連性が明示され、発達段階に応じ、読解の基礎を積み重ねるような教材配置がされている。また、表現の工夫、情報活用などでも螺旋的・反復的な学習になるよう工夫されている。	○「話す・聞く」や「書く」の単元では、実生活の場を想定した活動や必要感のある題材が設定され、「読む」の単元では、各学年の発達段階に応じた教材が配置されている。また、巻末には言語指導に関する資料があり、発展・補充的な学習ができるよう工夫されている。	○習得した学習内容を活用し、学びを積み重ねられる単元構成になっている。発達段階に応じた系統的・螺旋的な学習が、着実な学力向上につながるようになっている。また、多様な言語活動が設定されており、他教科や実生活に関連付けられるようになっている。	○各単元に「これまでの学習」があり、説明文では「練習」を配置するなど、発達段階に応じ、系統的な学習ができるよう工夫されている。また、２年生以上で単元末に「いかそう」を掲載し、他教科や実生活でいかすことができるようになっている。
	(3) 内容の 構成	各学年に「ことばあつめ」という単元が設定され、低学年では身近なことを表す語句、中学年では気持ちや性格を表す語句、高学年では思考に関わる語句を豊かに学ぶことができるようになっている。巻末の「言葉の広場」では、語彙を豊かにする工夫がされている。	２年生以上で既習漢字を使った「言葉をつないで文を作ろう」が配列されており、漢字の定着と共に語彙を増やすことができるよう工夫されている。また、各学年に伝統的な言語文化に関する教材が系統的に配列され、現代まで受け継がれてきた言語文化に親しむことができるよう工夫されている。	教科書の冒頭に、「言語」「漢字」「文化」など、言葉の特徴や使い方を学ぶことができる単元が示され、系統的に言葉の学習を積み重ねることができるよう工夫されている。また、巻末の「言葉の木」「言葉のまとめ」で、語彙を豊かにする工夫がされている。	○各学年に「言葉」や「情報」に関する教材、伝統的な言語文化に関する教材が系統的に配列され、児童の語彙を豊かにする工夫がされている。特に「情報」については活動場面を意識して、教材を四つの系列に整理し、言語活動の中で確実に力が身に付くよう工夫されている。
4 使用上の 便宜		○巻末付録にその学年として身に付けさせたい語彙が「言葉の広場」として種類ごとにまとめられており、児童が書いたり話したりする学習の中で参考にし、表現により広がりをもたせることができるよう工夫されている。	その単元で身に付けさせたい力を定着させるためのポイントが「国語のカギ」と巻末ページ「授業で使うことば」で対応して示されており、児童が用語の意味と使い方を確認しながら学習を進めることができるよう工夫されている。	○巻末付録にその学年として身に付けさせたい語彙が「言葉の木」として種類ごとにまとめられており、児童が書いたり話したりする学習の中で参考にし、表現により広がりをもたせることができるよう工夫されている。	○巻末付録にその学年として身に付けさせたい語彙が「言葉のたから箱」として折り込みページで種類ごとに分類されており、児童が書いたり話したりする学習の中で参考にし、活用しやすくなるよう工夫されている。
	5 印刷・造 本等	印刷は鮮明。色彩は豊かで、優しい色づかいになっており、発達段階を考慮した文字の大きさとなっている。配色・資料の示し方などが配慮されたユニバーサルデザイン書体が用いられている。５、６年生は中学校との接続を考慮した１冊構成になっている。	印刷は鮮明。色彩は豊かで、優しい色づかいになっており、発達段階を考慮した文字の大きさや太さとなっている。カラーユニバーサルデザインの観点から色調・配色が配慮されている。全学年を通じて上下巻の２分冊構成になっている。	○印刷は鮮明。色彩は豊かで、優しい色づかいになっており、発達段階を考慮した文字の大きさや太さとなっている。カラーユニバーサルデザインの観点から色調・配色が配慮され、また内容が読み取りやすいレイアウトにもなっている。全学年を通じて上下巻の２分冊構成になっている。	印刷は鮮明。色彩は豊かで、優しい色づかいになっており、発達段階を考慮した文字の大きさとなっている。配色・資料の示し方が配慮され、小さくても読みやすいフォントが用いられている。５、６年生は既習内容を振り返ることができるよう１冊構成になっている。

令和2年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書（国語）

	A者	B者	C者	D者
1 話したり聞いたり書いたりする活動が繰り返行える内容になっているか	「話すこと・聞くこと」の教材は、話し合いをはじめ、話す中でも「感性」「情報活用」に分けられ、話す内容に応じて指導できるよう工夫されている。「書くこと」の教材は「説明」「報告」「創作」「意見」「手紙」など、様々な文種を扱い、学校行事と関連付けて指導できる内容になっている。	「話すこと・聞くこと」の教材は、「話し合い」「ミニスピーチ」「発表・プレゼン」に分類され、各学年で系統的に指導できるよう工夫されている。「書くこと」の教材は、「記録」「報告」「生活文」「手紙」「創作」など、様々な文種を扱い、日常生活と関連した必要感のある内容になっている。	「話すこと・聞くこと」の教材は、「スピーチ」「話し合い」「説明・報告」の各系列に分かれ、各学年で系統的に学習できるよう工夫されている。「書くこと」の教材は、「説明」「報告」「日記」「手紙」「生活文」「創作」「提案文」の他、「図に表わす」など、様々な文種を扱っており、実生活につながる内容となっている。	2年生以上の「話すこと・聞くこと」の教材は、「言葉の準備運動」「聞く」「対話の練習」「話し合う」「話す」と系統的に教材が配置されている。また、2年生以上の「書くこと」の教材は、報告・提案・説明・解説・創作の他、日記や手紙などの多様な文種を扱っており、実生活を見据えた工夫がある。
2 文章の種類が調和的に配置され、説明的な文章については適宜、図表や写真等が含まれているか	文学的な文章では、読み深める、感想や考えをもつ、読み広げる、読み比べるといった言葉の力が身に付くよう、系統的に指導できる内容となっている。説明的な文章では、本文の内容を補完するためにグラフや図、イラスト、写真が配置されている。	非常に多彩な文学的な文章や詩、説明文が配置されており、児童の関心を高められるよう工夫されている。説明的な文章では、本文の内容を補完するためにグラフや図、イラスト、写真が配置されている。	文学的な文章では物語、詩、随筆などがバランスよく配置されている。文語詩、脚本などもあり、伝統文化について学ぶことができる。説明的な文章では、本文の内容を補完するためにグラフや図、イラスト、写真が配置されている。	「読むこと」の教材は、「物語・文学」「説明的な文章」「詩」が、系統的にバランスよく配置されている。説明的な文章では、本文の内容を補完するためにグラフや図、イラスト、写真が配置されている。
3 読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながる内容になっているか	読書教材「本は友達」が配置されている。著名人による文章を導入として、「〇年生の本だな」で多様な図書が紹介されており、多読を促す内容となっている。読書活動を通して読書生活に目を向ける読書単元と、図書館の活用について学ぶ教材が、発達段階に応じた系統的な構成で各学年に設定されており、読書を通して人生を豊かにしようとするための工夫が見られる。	1年生では本編に、2～4年生では資料編に、図書館の活用法が紹介されている。4年生ではブックトーク、5年ではアニメーション的な読書活動を行い、読書への関心を高める工夫をしている。また、本編や巻末に「読書の部屋」を設け、作品の内容や学習内容に関連する本を随所に紹介しており、主体的な読者を育てるための工夫が見られる。	学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図る教材が、1～4年生上に配置されている。日常生活において読書活動を活発に行うことができるように、図書紹介を中心とした交流活動を行う教材が、全学年に設けられている。巻末に「〇年生で読みたい本」が文種ごとに掲載されており、児童が幅広く読書に親しむことができるよう工夫されている。	各学年の1学期に配置された「本は友達」では、発達段階に合わせた学校図書館の利用方法が学べるようになっている。「読むこと」単元の「いかそう」には、日常生活で読書をする際に活用できることがまとめられている。また、「この本、読もう」のコーナーでは、選書の観点やあらすじが示されていて、教材で学んだことを生かして読書ができるよう工夫されている。
4 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方などに関する学習について系統的に扱われているか	豊かに語彙を広げる学習が随所に設けられている。単元末の「ことばあつめ」には「つなが言葉」「比べるときの表現」など、単元の内容に合わせて言葉の力を高めることができるよう工夫されている。巻末には、前学年で学んだ内容も含めて、領域別に、言葉の力が一覧で示されており、身に付けさせたい言葉の力が明確になっている。	各学年で、語句の量や漢字の知識を増やすための「言葉のいずみ」と、適切な言葉の使い方を理解するための「言葉のきまり」を設定し、日常生活で生きて働く言葉の力が育成できるようになっている。また、2年上では「表化」、3年上では「KJ法」、6年下では「マッピング」など、情報を視覚的に表しながら、思考を整理する力が身に付けられるよう工夫されている。	低学年では「共通点や相違点を発表するとき」、中学年では「全体の中から中心部分を取り出すとき」、高学年では「原因と結果の述べ方」について、ポイントとなる語彙や文型を系統的に学べるようになっている。2年上「この間に何があった?」、5年上「人とねずみの『はい、チーズ!』」など、新しいスタイルの教材で言葉の特徴や使い方を学習できるようになっている。	2年生以上の巻末に、感想や評価語彙、国語で学習する用語がまとめられた「言葉の宝箱」が折り込みの形で設けられており、いつでも活用することができるよう工夫されている。また、2年生以上で情報を扱う内容が系統的に配置されており、特に3年生以上では、「考えるときに使おう」で思考を整理する言葉が紹介されている。

令和 2 年度使用教科用図書調査研究報告書（種目名 国語） 学校名 小学校 校長名 公印（様式 2）

観 点		着 眼 点	A 者	B 者	C 者	D 者
1	学習指導要領との関連	【目標】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。				
2	(1) 内容の選択	ア 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る学習活動と、思考力・判断力・表現力等の育成を図る学習活動が配慮されているか。 イ 児童の学びに向かう力、人間性等を高めるように配慮されているか。				
	(2) 内容の程度	ア 目指す資質・能力において、児童の発達段階に適した内容となっているか。 イ 他教科等や実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材について、学年相応の工夫がなされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。				
	(3) 内容の構成	ア 単元の構成について、学習目標・計画が立てやすく配慮されているか。 イ 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項の系統・配列・分量はどうか。 ウ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の系統・配列・分量はどうか。 エ 言語活動の創意工夫や語彙指導、読書指導の充実を図ることに配慮されているか。				
3	学習の仕方への支援	ア 児童の興味・関心・意欲を高めるような適切な表記・表現がされているか。 イ 重要語句・新出漢字の提示、挿絵・漢字・図表等についての工夫はどうか。				
4	指導上の便宜	ア 学習のねらいの提示の仕方はどうか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。				
5	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。				

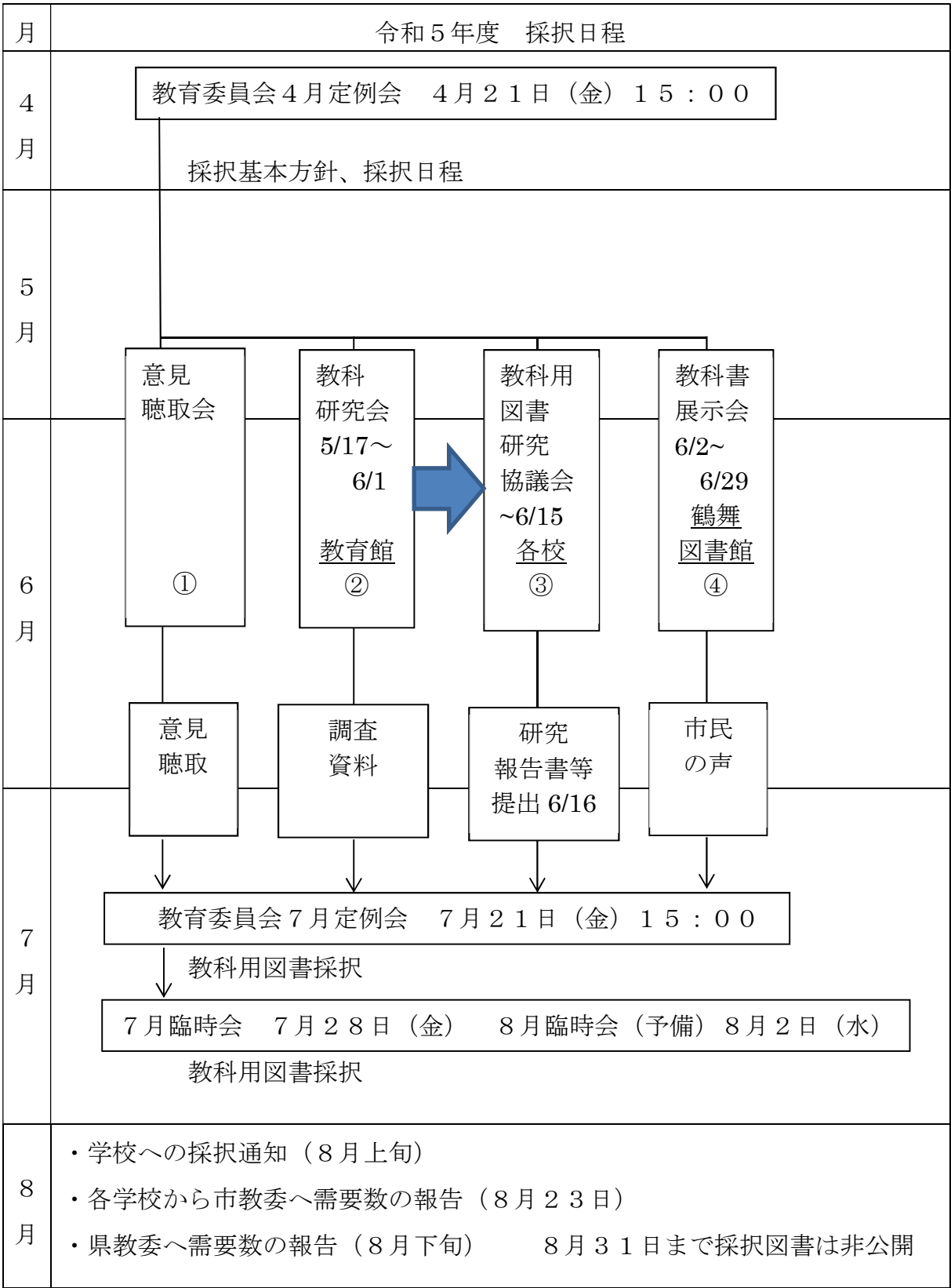
<記入の仕方> 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

令和 6 年度使用小学校用教科書展示校一覧

	区	小学校数	会場	調査期間（予定）
①	千種	1 5	小学校（7 校）	5/18～6/15 21 日間
②	東	9	小学校（4 校）	5/18～6/15 21 日間
③	北	1 9	小学校（7 校）	5/18～6/15 21 日間
④	西	1 7	西図書館	5/17～6/1 9 日間 ※5/19、22、29 は休館日
⑤	中村	1 5	小学校（7 校）	5/18～6/15 21 日間
⑥	中	1 1	小学校（4 校）	5/18～6/15 21 日間
⑦	昭和	1 1	鶴舞中央図書館	5/17～6/1 9 日間 ※5/19、22、29 は休館日
⑧	瑞穂・熱田	1 8	市教育センター	5/15～6/1 9 日間 ※5/16、19、23、26、30 は使用不可
⑨	中川	2 4	小学校（11 校）	5/18～6/15 21 日間
⑩	港	2 0	港図書館	5/17～6/1 9 日間 ※5/19、22、29 は休館日
⑪	南	1 8	南図書館	5/17～6/1 9 日間 ※5/19、22、29 は休館日
⑫	守山	2 1	小学校（8 校）	5/18～6/15 21 日間
⑬	緑	2 8	小学校（12 校）	5/18～6/15 21 日間
⑭	名東	1 9	小学校（8 校）	5/18～6/15 21 日間
⑮	天白	1 7	天白図書館	5/17～6/1 9 日間 ※5/19、22、29 は休館日

※ 小学校会場は、中学校ブロックごとに 1 校会場校を決めて調査研究を実施する。
もしくは、中学校ブロック内の小学校に見本本を回覧し、各校で調査研究を実施する。

令和 6 年度使用高等学校教科用図書の採択の流れについて（高等学校）



※ 意見聴取会は、教育委員より要望があった場合に実施。